

刀ではなく、そろばんで、家族を守った侍がいた。



武士の家計簿

監督：森田芳光 原作：磯田道史「武士の家計簿」加賀藩御用金主の幕末維新（新潮新書） 脚本：柏田道史 イメージソング：Manami「遠い記憶」（TOY'S FACTORY）

エグゼクティブ・プロデューサー：山内淳一 豊島雅也 野村浩将 原田仁 プロデューサー：元祐雄、プロダクション統括：永沼太夫 アソシエイト・プロデューサー：岩瀬川一 三沢和子 コアソング：東郷佳江 池田史朗 音楽：大島礼典 撮影：神谷正志 照明：渡辺三雄
編集：橋本文雄 編集協力：鳥居章二 監製：近藤成之 助監督：増田尚孝 制作担当：坂川元久 製作：磯田道史 企画協力：Hara Office 制作：ユース・プロダクション 企画協力：新華社 制作協力：松井京都新聞局 製作委員会：アマニック・ユース エンタテインメント
松竹 北樹新聞社 電話：ティファリミテッド テレビ番組：青柳明男 Yahoo! JAPAN 友成寿子 金澤市観光協会 配給：フジテレビ系 ユニオンエンターテインメント 松竹 株式会社 映像文化センター制作委員会 ©2010 武士の家計簿制作委員会 © 2009 www.bushikae.jp

いつの世も
父上は、
家族のために
戦っているのだ。

A large group of men, likely students or scholars, are seated at long wooden tables in a traditional Japanese classroom or study hall. They are wearing traditional Japanese scholar's robes (happi) in various colors like blue, grey, and green, each featuring a circular crest. The men are focused on their studies, with many using abacuses (soroban) and open books. The room has a dark wooden floor and walls, with a large window in the background showing a grid pattern. The overall atmosphere is one of quiet concentration and traditional learning.

武士の家計簿

「武士の家計簿」特製！
金沢・箔一の「純金箔入り」あぶらとり紙付
前売鑑賞券 ¥1,300発売中！

※当日一般、¥1800・大高生¥1500の処（一部劇場除く）
※一部劇場では取り扱っておりません
※特典は数量限定、無くなり次第終了となります
※表示価格税込

丸の内ピカデリー 03-3201-2881	新宿ピカデリー 03-5367-1144	渋谷シネパレス 03-3461-3534	シネ・リーブル池袋 03-3590-2126	品川プリンスシネマ 03-5421-1113	MOVIX亀有 03-5629-7200
ユナイテッド・シネマ豊洲 03-6219-3000	ユナイテッド・シネたましえん 03-5912-9800	ワーナーマイカル・シネマズ板橋 03-3937-1551	吉祥寺ハウスシアター 0422-22-3555	MOVIX昭島 042-500-5900	109シネマズグランベリーモール 0570-012-109
横浜ブルク13 045-222-6222	MOVIX本牧 045-625-3766	109シネマズMM横浜 045-664-0109	ワーナーマイカル・シネマズ港北ニュータウン 045-914-7677	川崎チネチッタ 044-223-3190	109シネマズ川崎 0570-007-109



幕末から明治。激動の時代を、知恵と愛で
生き抜いた家族の姿が実在の『家計簿』
から、今、よみがえる。

古書店で偶然発見された家計簿、それは国史研究の通念を覆す大発見となった。日々の買い物、親戚付き合い、子供の養育費、冠婚葬祭——家計簿から鮮やかによみがえる、下級武士一家の暮らしぶり。この家計簿をつけた武士、猪山直之が本作の主人公である。代々加賀藩の御算用者(経理係)として仕えた猪山家の跡取り息子として、家業のそろばんの腕を磨き、才能を買われて出世する。しかし、当時の武家の慣習によって出世する度に支出が増え続け、ついには家計が窮地にあることを知った直之は、ある「家計立て直し計画」を宣言する。それは、家財を売り払い、家族全員で質素節約して膨大な借金の返済に充てることだった。体面を重んじる武士の世にあつて、世間の嘲笑を浴びながらも、知恵と工夫で日々の暮らしを前向きに乗り越えようとする猪山家の人々。見栄や世間体を捨てても直之が守りたかったもの、そしてわが子に伝えようとした思いとは——。本作は、激動の時代を世間体や時流に惑わされることなく、つましくも堅実に生きた猪山家三代にわたる親子の絆と家族愛を描いた物語である。



先行き不透明な現代を生きるヒントを
くれる、時代を誠実に生き抜く姿。

物語の背景となる幕末から明治は、世の中の秩序や価値観が大きく変化した時代。歴史上に名を残す英雄が活躍する一方で、これまで表舞台に立つことのなかった人々は、日本の大変革期を一体どう生きたのか？猪山家の生き方は、金融破綻、地価下落、リストラ、家族の断絶や孤独死など、様々な社会問題に直面している私たちに、今を生き抜くためのヒントを教えてくれるだろう。

森田芳光監督が豪華キャストで贈る、
家族ドラマの名作ここに誕生。

原作は、武士の家計簿「金沢藩士猪山家文書」から幕末の武士の生活を生きて読み解いた磯田道史著『武士の家計簿「加賀藩御算用者」の幕末維新』(新潮新書刊)。監督は常に時代を様々な角度から切り取り、家族の在り方を描いてきた森田芳光。そして見栄や建前を捨てて実直に生きる主人公・猪山直之にNHK大河ドラマ「篤姫」の魅力的な家定役で話題をさらった堺雅人。直之を支える献身的な賢妻・お駒に「功名が辻」の武将・山内一豊の妻・千代役で芯の強い女性を見事に演じた実力派女優の仲間由紀恵。そして、松坂慶子、中村雅俊、草笛光子、西村雅彦、正月を飾るにふさわしい豪華キャストが勢ぞろいした。



武士も辛いよ！出世したのに、
どうして家計が苦しくなるの？

出世したら……

- ・家来・使用人を定人数、雇わなくてはならない
- ・藩からもらった屋敷を維持せねばならない
- ・親戚や同僚との祝儀交際に出費せねばならない
- ・使いの者にも謝礼をしなければならぬ
- ・他家を訪問する/される際の土産を用意せねばならない
- ・冠婚葬祭や年中行事に関連した贈答のやり取りをしなければならぬ
- ・子供の通過儀礼での親戚の饗応を開かねばならない
- ・江戸での単身赴任暮らしとの二重生活を送らなくてはならない
- ……にもかかわらず、藩からの手当てはごくわずか！



猪山家の支出

- ① 父信之と息子直之合わせた猪山家の年収
約1200万円(銀約30000匁)
- ② 気がつけば、多額の借金！
総額約2400万円(銀約60000匁)
- ③ 家族総出で、家財を売り払い、借金返済
総額約1025万円(銀2563・92匁)

これが猪山家の「家計立て直し計画」



① 家計簿をつける

饅頭一個、大根一本の値段も記録！
これが猪山家の家計簿。
自分の結婚式も家族の葬式費用も……
かかった経費はその日のうちに記録。

② 家財を売り払って借金返済

着物や茶道具から弁当箱にいたるまで、
合計88品目を売却。

③ 知恵と工夫で！日々の生活乗り越える

- ・息子の袴着の祝い、鯛の塩焼きを「絵鯛」にして節約。
- ・職場に持っていく弁当も、豪華なものから質素なものに変更。
- ・白子の酢醤油・昆布じめ・焼き物など、一尾の鰻も料理法を変えて、食卓にバリエーションを。
- ・囲碁セットは売り払い、手書きの碁盤と貝殻で作った碁石で代用。

